



# テルフロックAH

廃泥水・浚渫底泥処理用高分子凝集剤

テルフロックAHは、工事現場から発生する廃泥水及び、河川、港湾等の浚渫底泥処理用に開発された高分子凝集剤です。

高分子凝集剤は、土粒子どうしを吸着させ、吸着した土粒子がさらに集まって巨大なフロックを形成します。生成したフロックは非常に強いため、各種固液分離装置により脱水することができ、廃泥水、浚渫土の減容化に貢献します。



## テルフロックAHの特徴

- 1) テルフロックAHは水溶液にして使用しますが、清水だけでなく、海水にも溶解できます。
- 2) 少量の添加で、大きな凝集効果を得ることが出来ます。
- 3) 強いフロックを形成するため、脱水性に優れ、スラッジの脱水処理効果を向上させます。
- 4) 処理水の清澄性が優れております。
- 5) 高アルカリ領域でも使用できます。
- 6) 無機凝集剤との併用により、優れた処理効果を得ることが出来ます。
- 7) 安全性に優れております。

## テルフロックAHの物性

外 観 白色粒状

嵩 比 重 0.6～0.8

イオン性 中アニオン

\* 水溶液粘度 (0.1%濃度) 350mPa・S (参考値)

\* 水溶液pH (0.1%濃度) 中性

## テルフロックAHの使用方法

### 1) 溶解水及び溶解濃度

a, 清水の場合：水道水のようにpHが中性で金属イオンの少ない水をご使用ください。テルフロックAHの溶解に際しては、0.05～0.2%の濃度で溶かしてください。

b, 海水の場合：港湾及び海洋浚渫などで使用する場合は海水を使用できます。テルフロックAHの溶解に際しては、0.2～0.5%の濃度で溶かしてください。

### 2) 溶解液の添加

テルフロックAHの溶解濃度と最適添加量は、あらかじめ予備試験を行なって決定してください。溶解液の添加ポンプは、プランジャーポンプ、ダイヤフラムポンプ、またはモノポンプのご使用をお勧めします。ギヤポンプの使用は凝集効果を低下させますので使用しないで下さい。

## 取扱い上の注意

### 1) 貯蔵安定性

テルフロックAHは通常の貯蔵条件では優れた安定性を示します。1年間は経時変化はしませんが、高温多湿の場所や1年以上の長期貯蔵はお避けください。溶解液は経時変化がおきますのでなるべく早くご使用ください。

### 2) 吸湿性

テルフロックAHは吸湿性がありますのでご使用後は必ず密閉し保管してください。

### 3) 腐蝕性

テルフロックAHは腐蝕性がないので、溶解槽に特殊な材質のものを使用する必要はありません。但し、亜鉛メッキしたものは使用しないでください。

## テルフロックAHの荷姿

クラフト袋入り

1袋10kg入り(1kg小袋×10個)

## 株式会社 テルナイト

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-3

Daiwa神保町3丁目ビル5階

TEL 03(5843)0009 FAX 03(3221)5061